

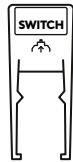
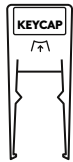
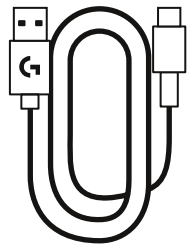
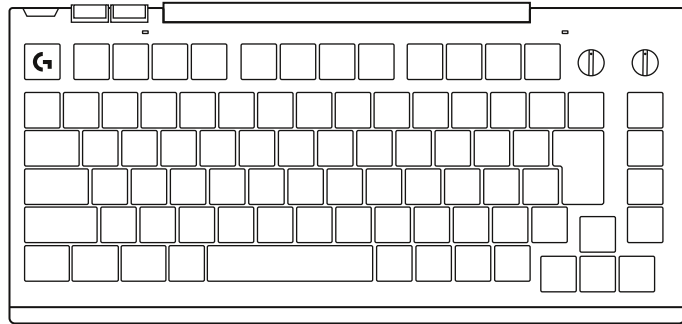
G512 X 75

TMR アナログ | メカニカルゲーミングキーボード

セットアップガイド

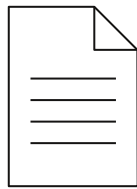


logicool



x 9

x 5

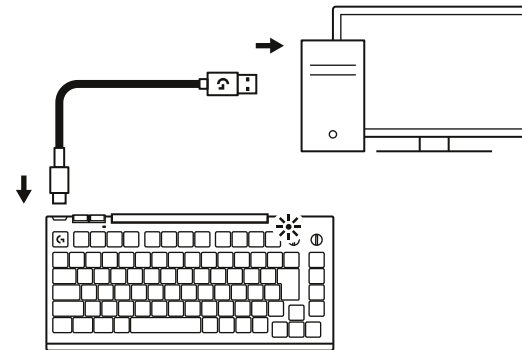


G512 X 75 の使用を開始する

付属の USB-C - USB-A ケーブルを使用して、G512 X 75 を PC に接続する必要があります。

起動時、G512 X 75 は WELCOME ライト効果を表示し、自動的にスイッチをスキャンします。

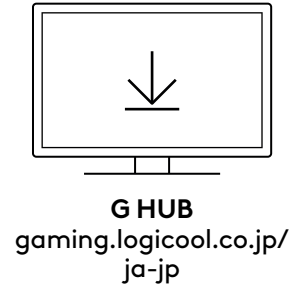
41個のアナログスロットのいずれかにアナログスイッチを設定した場合、デフォルトの PULSAR POINT ライト効果によって、そのアナログスイッチが特定の色で表示されます



ウェブ (<https://gaming.logicool.co.jp/ja-jp/software/ghub>) から G HUB をダウンロードしてインストールできます。

G HUB を起動すると、ソフトウェア更新の有無が確認されます。G512 X 75 が PC に接続されていると、G HUB によってインストール可能なファームウェア更新の有無も確認されます。

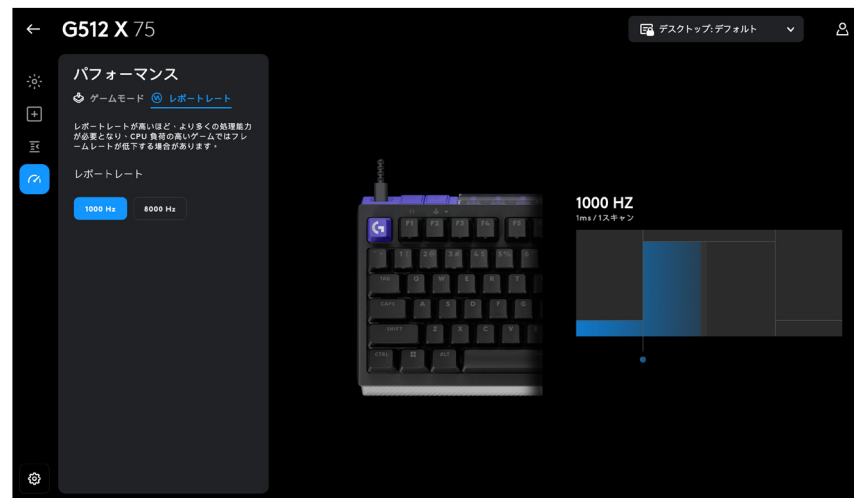
その後は、オンラインの指示に従ってください。



レポートレート1 kHz/8 kHz

G512 X 75 は1 kHz と8 kHz のレポートレートに対応しています。

- デフォルトでは、G512 X 75 は1 kHz に設定されています。
- レポートレートは [G HUB パフォーマンス/レポートレート] ページで変更できます。

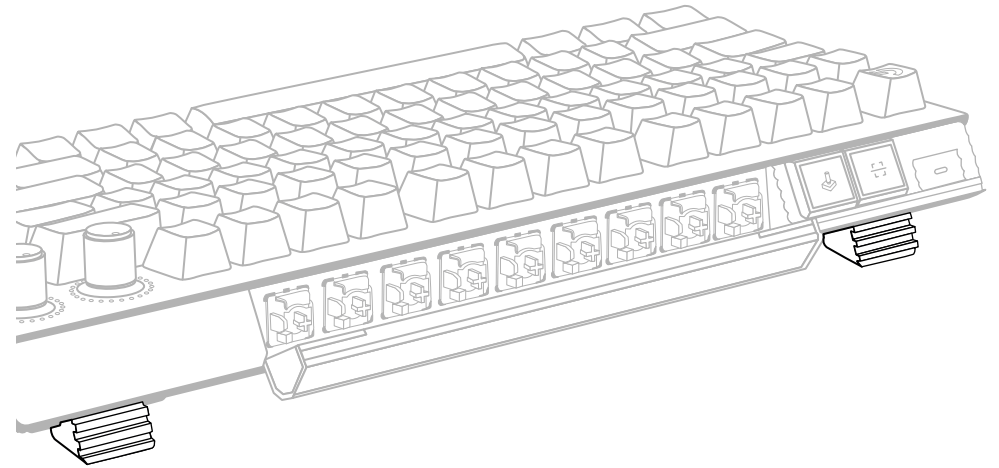


ライト

- すべてのライト効果と輝度は、G HUB を使って簡単に調整できます。
- G HUB で [ゾーンごとのライトを有効にする] を選択し、キーとライトバーで異なるライト効果を使用できます。これにより、ライト効果の設定を個別に行うことができます。
- キーボードショートカットを使って直接変更することもできます。
 - FN + F5を使用してライト効果を調整します。
 - FN + F6を使用してライトパラメーターを変更します。
 - FN + F7 (下げる) または FN + F8 (上げる) を使用して輝度を調整します。
 - デフォルトでは、左の回転ノブで全体の輝度をコントロールします。

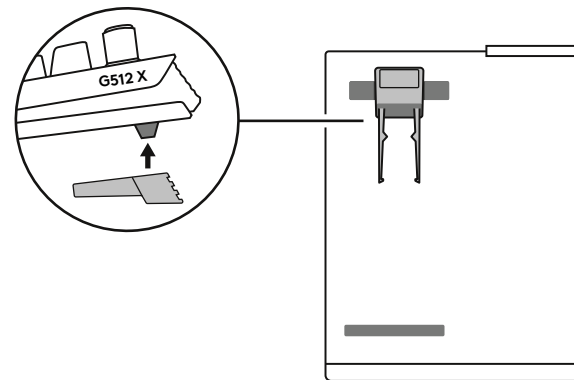
調節可能な脚

- 新しい G512 X 75 は、4°または8°の傾斜角度に調整できます。
- 脚なしのデフォルトでは、G512 X 75 は4°になっています。
- 角度を8°に変更するには、パッケージに含まれている2本の脚を手動で追加します。
- 脚を取り付けるには、以下の「キーキャップ/スイッチのプラーを使用する」セクションに記載されている指示に従います。



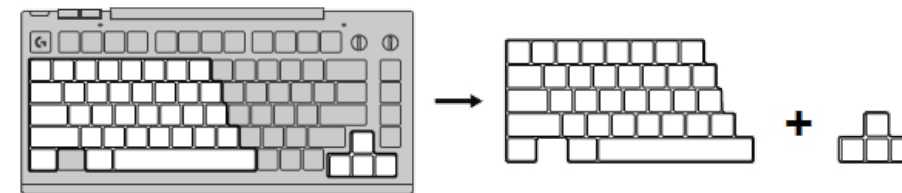
キーキャップ/スイッチのプラーを使用する

- G512 X 75 の8°脚は、キーキャップやスイッチのプラーとしても機能します。
- キーキャップスイッチ用かどうかは、それぞれの脚のアイコン/テキストを参照してください。
- 脚をピンセットとして使用して、キーキャップやスイッチを取り外すことができます。
- スイッチを取り外すには、プラーの脚をスイッチの(左右方向ではなく)上下方向の軸に当てる必要があります。



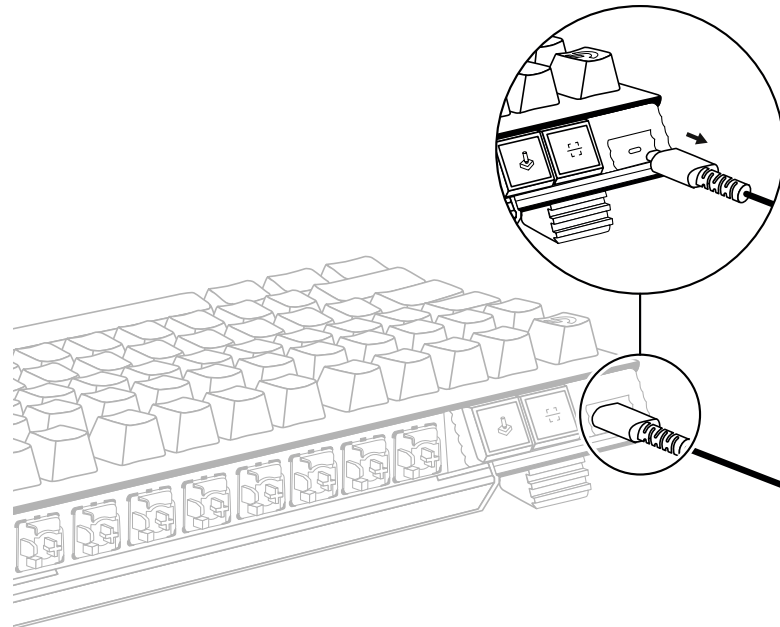
アナログスイッチを使用する

- G512 X 75 は、41個のスイッチスロット (キーボードの左側 + 矢印キー) のアナログスイッチで動作します。キープレートの色分けしたマーキングと G HUB アナログ設定ページを参照してください。
- G512 X 75 には、9個のアナログスイッチ (Gateron KS20) がキーボード背面の半透明カバーの裏側にあります。
- これらのアナログスイッチは、41個のデュアルスロットのいずれかにあるガルバニックスイッチと交換して使用できます (これらの41スロット以外のガルバニックスイッチをアナログスイッチに交換した場合、そのキーは機能しません)。



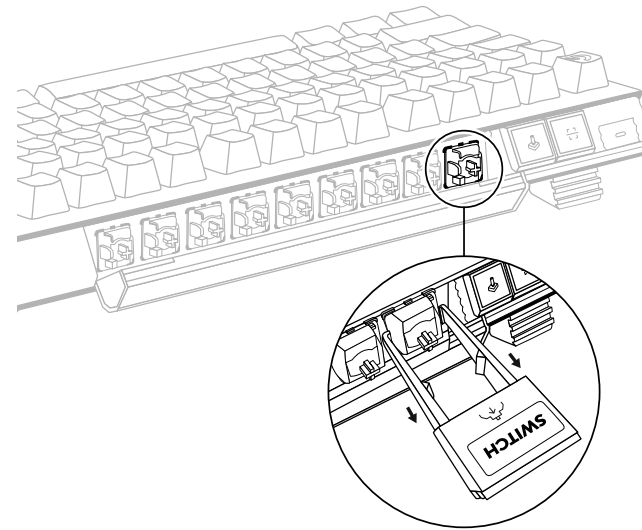
G512 X 75 のアナログスイッチを交換するには、以下の手順に従ってください。

- まず、電源ケーブルを抜いて G512 X 75 の電源を切ります (静電気放電のリスクを軽減するため)。

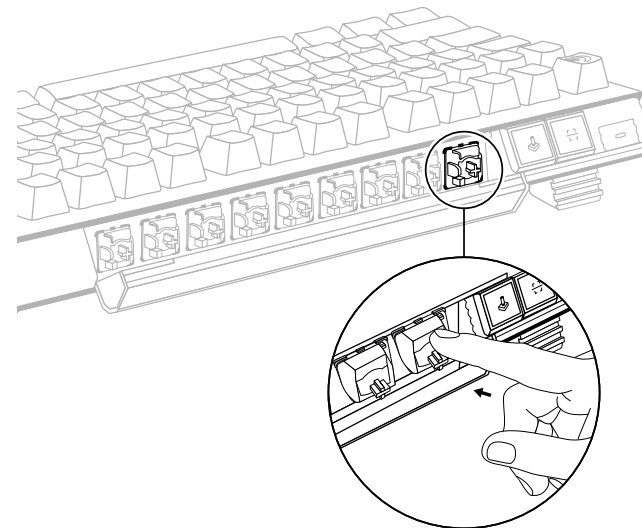


- 背面カバーを外し、アナログスイッチをホルダーから取り外します (G512 X 75 と互換性があれば、お手持ちのスイッチを使用することもできます)。
- キーボードには、スイッチの中央に磁石が配置された GATERON KS20 アナログスイッチが9個搭載されています。同じタイプの磁石配置を採用する他のアナログスイッチも使用できます。
- G512 X 75 の41個のいずれかのデュアルスロットから交換したいガバナニックスイッチを取り外します。
- それらをアナログスイッチに交換します。

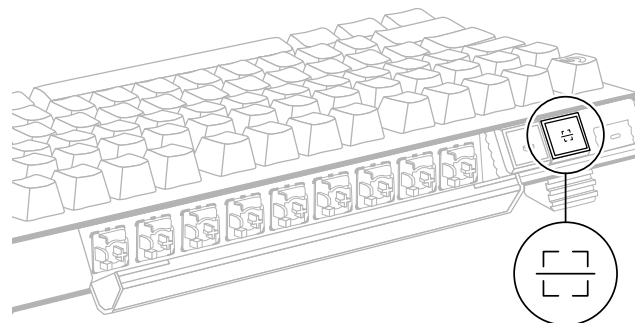
重要: アナログスイッチのライトガイドは上向き (キーボードの上) である必要があります。下向きの場合は、キーキャップを通してライトが見えなくなります。



- キーキャップを元に戻し、止まるまで押し込みます。
- 電源ケーブルを差し戻し、キーボードの電源を入れます。

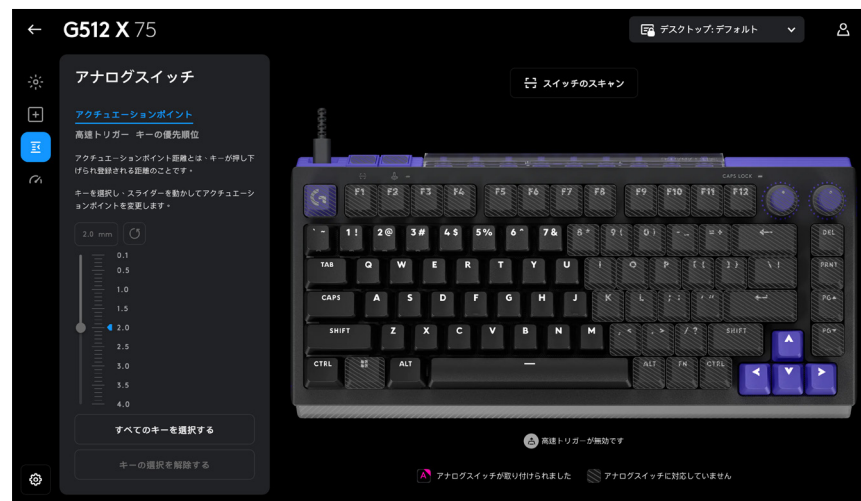


- G512 X 75 が、41個のデュアルスロットのスキャンを含む起動効果を自動的に実行し、ガルバニックスイッチとアナログスイッチの位置を把握します。
- そのすぐにスキャン結果が表示されます(アナログスイッチは別の色でハイライトされます)。
- G512 X 75 の底面にあるスキャンボタンを押すと、G512 X 75 を切断せずに手でスキャンを再開することもできます。



- G512 X 75 には9個のアナログキーが付属していますが、別途アナログスイッチを購入すれば、最大41個のアナログキーを G512 X 75 に取り付け可能です。
- アナログスイッチは、挿入とスキャンが完了すると、G HUB またはキーボードショットカットを使って設定できます。

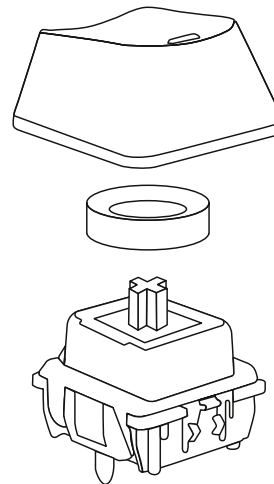
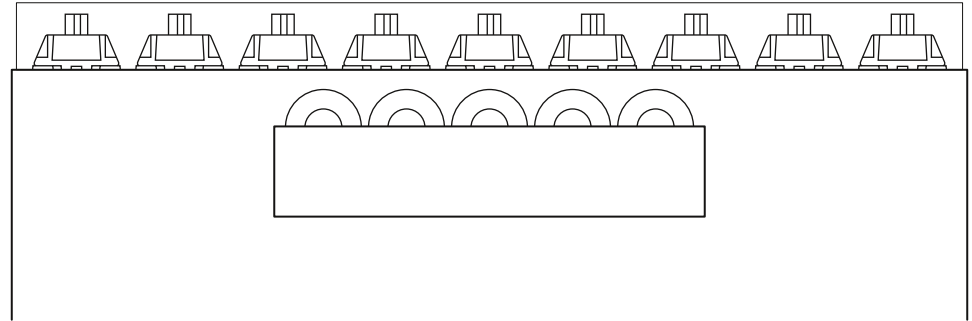
重要: アナログスイッチは、G512 X 75 に取り付けただ後にスキャンを実行しないと、認識されません。



SAPP を使用する

[G HUB の割り当て] セクションで、キーストロークの2つ目のアクチュエーションポイントを設定できます (アナログスイッチ使用時のみ可能)。また、お好みのキーキャップに物理 SAPP (2つ目のアクチュエーション圧力ポイント) を追加することもできます。その方法は次のとおりです。

- キーボードの下にある5つの SAPP O リングを見つけます。
- ボトムホルダーから SAPP O リングを1つ取り外します。
- 物理 SAPP を追加したい場所のキーキャップを取り外します。
- SAPP O リングを (スイッチではなく) キーキャップシステムに取り付けます。
- キーキャップをスイッチに戻し、しっかりと押し込みます。
- [G HUB の割り当て] で、SAPP O リングのあるキーを選択し、[マルチアクションの再マッピング] を選択します。
- 取り付けられた O リングを選択し、希望の値を設定します。
- キーキャップから SAPP を取り外すには、まずキーキャッププラーを使ってキーキャップを取り外します。
- 次に、キーキャップシステムから SAPP O リングを取り外します。
- SAPP O リングをホルダーに戻します。
- キーキャップをスイッチに戻します。





©2026 Logitech, Logicool. 株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。Logicool、Logicool G、Logiおよび各ロゴはLogitech Europe S.A.および/または米国およびその他の国における関連会社の登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、このマニュアルに存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。ここに記載されている情報は予告なく変更される場合があります。

WEB-621-002755 002